

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2017~2018年度 No.226

11月 月報

那須クラブ会長 主題
地域につなげ那須ワイズ



強調月間：ワイズ理解
ファミリーファスト



2018~2019年度 主題
国際会長：(IP) Moon Sang Bong (韓国)
「私たちは変えられる」
アジア地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 宮内 友弥(東京武蔵野多摩)
「為せば、成る」
北東部長：涌澤 博(仙台青葉城)
「チャンス到来 われら北東部から世界へ」

クラブ役員 事務局
会長：河野 順子
副会長：村田 榮也
書記：藤生 強
会計：村田・鈴木
担当主事：藤生 強
ブリテン：田村・村田

10月例会データ (出席率：100%)
在籍者 6名
例会出席者 6名 メネット 4名
ゲスト 6名

今月の聖句
わたしは、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意を整えて、神のもとを離れ、天から下って来るのを見た。

ヨハネの黙示録 21:2

11月 Happy Birthday

11/7 原田 晴子メネット
11/14 河野 順子ウィメン

巻 頭 言

原田 時近

とちぎYMCA40周年

とちぎYMCA40周年感謝会が、11月17日YMCA体育館で開催された。来賓として日本YMCA同盟堀口執行理事・国際青少年センター東山荘所長、また歴代の総主事・初代井口 延氏、第2代並木 信一氏、第3代山田 公平氏、第5代菅谷 淳氏、第6代秋田 正人氏等をお迎えし、YMCA会員・関係者、ワイズメン・関係者、リーダー、さくらんぼ幼稚園関係者各位等共々に記念式典を寿ぎ、これまで守られ導かれた感謝の思いを一つにする良い節目の一日であった。私自身チャーターメンバーであり、Yの黎明期・草創期を振り返って映し出された画像には、48歳の自分がいた。ちなみに、当ワイズの田村副会長は一番の若手であった。

とちぎYの歴史は、キリスト教主義の幼稚園を譲り受けて、栃木県にもYMCAの使命を全うすべし、との熱心と希望から出発した。そこには、東京YMCAを中心とした先輩Yの、設立への大きな助けもあった。初代の井口総主事は、先ず宇都宮市内を中心に県内の教会に会員の推薦を依頼して廻ったと聞いた。Yには、基本財産も何もない“0(ゼロ)”からの出発であった。あるのは、YMCA誕生の原点であるキリスト信仰に根ざした“互いの人格形成と他者への奉仕”を標榜する心意気だったと思う。招きに応えたのは、県内のカトリック・プロテスタント超教派の教会青年19名でした。感謝会では、共にYの使命を全うすべく働き、リーダーシップをもって牽引してくれたそれぞれの時代の総主事、主事、職員の皆様にお会いし懐かしい思い出話にふけた。これらのお一人おひとりの熱心に、多くの人が賛同しサポーターが加えられ、やがてリーダーが加えられ力が結集し、全国にも評価されるとちぎYMCAへと成長して行ったのだと思う。私事になるが、この長い間、仕事をしながら、夜は会議に駆け付けた。色々なことがあった。ワイズで各地の大会に参加したり、アウトティングでゴルフに興じたことも懐かしい。

私たちの那須ワイズメンズクラブに立ち返った時、我々もYと多く関わって共に歩んで来たことに思いを致す。宇都宮ワイズから枝分かれして21年になる。県北にあってそのYの使命と理想の実現が求められている。ここには奉仕の場も多くある。国際医療福祉大学生を中心としたリーダーの養成と活躍、アジア学院の使命に共鳴し支援すること、西那

須野幼稚園の幼児教育への寄り添いと学び、那須の松林の植樹の奉仕等々。中でもYの歴史の中で忘れてはならないのは、塩谷キャンプ場である。YMCAは、5周年記念事業として①青年を国際性を養うために海外へ派遣する②野外活動のためのキャンプ場を設営する、の2者択一のなかから選ばれ設営された。キャンプ場の土地は、東京電力の水力発電の跡地で、塩谷町から払い下げを受け、使用できる状態にまで整備し、会員による寄付と労力奉仕のみで設営されたのです。とちぎYMCAの第一号、唯一の財産でありました。この故に、今、その初志に深く思いを致し、県外からも多くの子どもから大人までキャンプ場でリフレッシュとチャレンジを味わったことを感謝するとともに、塩谷キャンプ場のこれからのみならず、すべての那須ワイズの働きの上に、神のお導きと守りが豊かにありますように祈ります。YMCAのこれからの歴史を期待し、見守りたいと思います。

10月例会（アジア学院収穫感謝の日バザー・部長公式訪問）

担当主事 藤生 強

日時：10月13日（土）9：00～16：00

10月14日（日）9：00～16：00

参加者：河野、田村、原田、鈴木、藤生、村田の各メン。田村、原田、藤生、村田の各メネット。ゲスト：涌澤北東部長、コメント。田村コメント（木村真喜子、田村有希子）、平山主事、ユースリーダー（2）。荒井主事、大浦スタッフ、大浦コメント

12日（金）午後6時。に田村メン宅に集合し、有希子コメントの準備して下さった暖かいけんちんうどんをいただき、寄贈いただいた品物の確認と「季節の贈り物」の準備をした。

バザーの両日とも天候に恵まれたことに感謝です。

10月例会は、恒例の「アジア学院収穫感謝の日」へのブース参加でした。

「アジア学院」は那須ワイズ活動エリアの中央部に位置し、那須ワイズそしてとちぎYMCAも昔から色々関わらせて頂いています。

2015年3月に開催した「那須ワイズ設立20周年記念感謝例会」の会場でしたので、お越しいただいた近隣のワイズの方にはアジア学院の雰囲気はお分かりいただけるかと思ひます。



私（藤生）自身はYMCAやワイズで何度も「アジア学院」を訪れていましたが、「収穫

感謝の日」へは初参加でその賑わいにビックリしました。

那須ワイズは、古着や小物などの「ミニバザー」、秋の草花や木の実などの詰め合わせ「季節の贈り物」



販売、そして子ども達への駄菓子販売、などを取り扱ったブースを行いました。

開店前から多くの外国の方（さすが、アジア学院は国際色豊か！）が古着を手に取り買っていました。日本人の来場者には「季節の贈り物」が好評でした。子ども達には「駄菓子」より「スーパーボールくじ」が大人気で、大きなスーパーボールを当てるために何回もくじをする子もいました。（こちらが心配するほど・・・）

「収穫感謝の日」には本当に多くの方が来ていました。アジア学院を支援している方々、毎年楽しみにしている地元の方々、地元やその周辺の幼稚園などの子ども達、地元の中学生・高校生もボランティアとしてお手伝いをしていました。東京など遠方からの来場者・ボランティアも多くおりました。会場と駐車場を結ぶシャトルバスが到着するたびに多くの方が降りてきました。

那須YMCAからも土曜活動グループのプログラムとして来場し、メンバーの子ども達はとても楽しんでいました。

YMCAとは違う世界を垣間見ることが出来た2日間となりました。そして「アジア学院がある」という「地元自慢、を再確認する日となりました。

13日（土）には、ワイズ北東部涌澤部長の公式訪問がありました。部長と息子さんの来訪とブースお手伝いに感謝します！

なんといってもバザーの成功のカギを握るのは、女性たちの働きの大きさです本当に感謝します。

売り上げのうちアジア学院に63,000円を献金しました。



涌澤部長のメネットが自宅で作られた「季節の贈り物」

今後の予定

・11月役員会（第2例会）

日時：11月2日（金）午後6時～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：10月例会（アジア学院収穫感謝の日バザー・部長公式訪問）の反省、10月特別例会（秋の植樹）の反省、11月号ブリテンの発行、11月例会（お茶の会を通して日本文化を学ぶ）、YMCA報告等。

・11月例会（お茶の会を通して日本文化を学ぶ）

日時：11月23日（金・祝）午後2時～

場所：那須塩原市二区町369 遠山宗定師匠宅

会費：500円

・第2回北東部評議会

日時：11月23日（金・祝）午後1時～

場所：とちぎYMCAマイホームきよはら

・12月役員会（第2例会）

日時：11月30日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：11月例会（茶道を学ぶ）の反省、12月例会（クリスマス）12月号ブリテンの発行、YMCA報告等。

・アジア学院卒業式

日時：12月8日（土）午後1時30分～

場所：アジア学院

・12月（クリスマス）例会

日時：12月14日（金）午後6時30分～

場所：日本キリスト教団西那須野教会

11月第2例会（役員会）報告

日時：11月2日（金）午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村副会長、村田副会長、藤生担当主事、平山主事、田村メネット

協議事項

1. 10月例会（アジア学院収穫感謝の日バザー・部長公式訪問）の反省

①献品がたくさん集まり感謝です。季節の贈り物は好評であった。子供へのアプローチとしてのゲームコーナー等について検討が必要。

②女性軍の働きの大きさに思う。

③両日ともに天候に恵まれて、総売り上げは、10万円を超えた。アジア学院への献金は、63,000円できた。感謝です。

2. 10月特別例会（秋の植樹）の反省
オオタカ保護基金団体と合同で10月27日（土）に実施した。雨の中の活動であったので、ガールスカウトの参加は得られなかった。日程が那須塩原市の祭りと被ってしまった。

3. 11月例会（お茶会を通して日本文化を学ぶ）の件

11月23日（金）午後2時より、那須塩原市二区町369の遠山茶道を学ぶと題して、遠山宗定師匠宅で行う。会費は、会員のみ500円。ユースリーダーの参加を期待する。



4. 第2回北東部評議会に出席の件
当クラブの例会日に開催のために欠席とする。藤生書記は、出席が可能なので出席をお願いした。

5. 11月ブリテン発行について

6. 特別（CS公開講演会）例会は、11月24日（土）に、那須地区の市民クリスマスの開催とぶつかるので、来年2月に開催する。

7. 12月例会（クリスマス会）について

12月14日（金）に西那須野教会にて行う。

8. 12月役員会（第2例会）について、

11月30日（金）午後6時30分よりココス西那須野乃木店にて行う。

9. とちぎYMCA40周年記念感謝会 11月17日（土）午後2時から4時の出席について
原田、村田が出席する。

10月特別例会（秋の植樹）

副会長 田村 修也



10月27日土曜日の朝、5時30分に目が覚めた時には、激しく屋根を叩く雨の音が聞こえました。天気予報では6時ごろまでは雨が降っているが徐々に回復してくるとのことでしたが、あまりの激しい降りに、植樹行事は延期になるか中止になるのではないかと心配いたしました。どのようになると、参加予定の皆様ご連絡しなくてはならないので、まだ誰もお見えになっていないとは思っていたのですが、7時まで待って塩那森林管理署に電話を致しました。すると担当の吉江森林技術指導官が、もう出勤していて電話を取ってくれました。事情をお話しますと、野鳥保護全国会長の遠藤さんからも連絡が入ったのですが、森林管理署としては実施することで、職員はもう現地に行って準備をしていますとのことでした。

雨も多少小降りになっては来ているものの、ガールスカウトの隊員の方々は多くが小学生なので、参加はリーダーに判断してもらうことにして、伊藤リーダーに連絡をして、参加不参加は団の方で検討して頂くことにしました。伊藤リーダーは、団員は出席出来なくても私は出席致しますと答えてくれました。常連の参加者にも小雨決行の連絡をして準備に入りました。

今回の秋の植樹例会は、国有林との打ち合わせでNPO法人オオタカ保護基金と塩那森林管理署主催による「2018アカマツの森づくり」と一緒に行うことになりました。那須ワイスの植樹例会は、11月最初の土曜日頃に実施してきましたが、今回は少し早くはなるものの、概ね同じ時期になりますので、お世話になる国有林の意向に沿う形で実施いたしました。

毎年この時期に行われているこの「アカマツの森づくり」は、オオタカの営巣地の環境を保護するとともに整備をするために行われているもので、参加者は一般公募で、定員は50名となっています。開会時間の9時30分、雨は小康状態になってきました。初めに塩那森林管理事務所の遠藤さんからオオタカの生態と松林についてお話があり、那須街道赤松林の大切さを確認いたしました。続いて、担当の職員の方が苗木の植え付けについて実地指導がなされた後、参加者全員で一斉に植樹作業にはいりました。今回は雨の中ということもあって、地面の掻き起こし作業である地掻きは実施しませんでした。林間の日の当たる場所には、実生の小さな松の稚樹が可愛さの中にも逞しさを見せて天を仰いでいました。そのような所には、踏まれたり作業で掘り起こされないように、赤いペンキで目印の付いた篠竹を

さして、保護に努めました。実生のマツは成長すると共にごぼう根である直根が発達して、強風にも耐えるマツに成長していきます。参加者は雨のために途中でお帰りになった方々も見受けられましたので、総勢約30名程でした。環境庁のビジターセンターからも数名参加していました。いつも参加して下さるガールスカウトの隊員の方々は、「那須野巻狩りまつり」と行事が重複したために、今回は参加出来ませんでした。準備されていたポット苗木は1時間半程度で植え付けが終わりました。その後、雨がまだやまないため、会場を那須町婦人の家に移して、塩那森林管理署で準備されたオレゴンパインの巨大なまつかさやツルウメモドキ、ちいさなまつかさ、ヤシャブシ、カラマツの球果等々をフジやアケビのつるで編んだ輪に飾りつけて、クリスマスリース作りに挑戦し、作品をお土産にして解散となりました。参加者には生憎の天気でしたが、植えられる苗木にとりましては、またとない好条件でした。

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第66回）

田村修也

明治18年4月1日付けで那須原野が大水路の開鑿認可が下りると、直ちに「那須原大水路開鑿賛成員御指令報告人名簿」が作成されました。これは大水路開鑿賛同者の名簿でありまして、103名の使命と地位などが記されています。この中には既にご紹介いたしました方々もおりますが、改めて103名を記載いたします。

1 有栖川殿下：有栖川宮熾仁親王。2 三条相国殿下：三条実美太政大臣（公爵）。3 山県内務卿殿：山県有朋（公爵）。4 伊藤宮内卿殿：伊藤博文（公爵）。5 西郷農商務卿殿：西郷従道（侯爵）。6 大山陸軍卿殿：大山 巖（公爵）。7 佐々木工部卿殿：佐々木高行（侯爵）。8 山田司法卿殿：山田顕義（伯爵）。9 松方大蔵卿殿：松方正義（公爵）。10 井上外務卿殿：井上馨（侯爵）。11 大木司法卿殿：大木喬任（伯爵）。12 品川大輔殿：品川弥二郎（子爵）。13 前田大書記官：前田正名（男爵）。14 奥権大書記官：奥 青輔。15 岩山大書記官：岩山敬義。16 飯田丁壺丁目宮嶋大書記官：宮嶋誠一郎？17 准奏任波多野尹政：宮内権少書記官。18 准奏任垣田 弥。19 四等属岩手厚雄：内務省職員？20 五等属季田藤太：内務省職員？21 准奏任折田正介：栃木県一等属（警部長）22 本郷金助丁田中従四位殿：田中芳男（男爵）。23 大蔵少輔郷正五位殿：郷 純三（男爵）。24 調査局長、従五位渡辺國武殿：後の大蔵大臣（子爵）。25 大蔵権大書記

官深井順暢：深江順暢。26 内務少輔芳川正五位殿：芳川顕正（伯爵）。27 土木局長三嶋正五位殿：三島通庸（子爵）。28 従五位・土木大書記官中村孝緒：株主の中村弘毅？29 権少書記官・正七位南一郎平：内務省疏水課長。30 太政大臣秘書官田中英秀：株主（東京）。31 従四位大迫警視總監：大迫貞清（子爵）。32 従四位吉田外務大輔：吉田清成（子爵）。33 従四位土方内務書記官長（伯爵）。34 従四位島参事院議員。35 内閣大書記官谷森大書記官。36 株主吉井正四位殿：吉井友実（伯爵）37 大久保従五位殿：大久保利和（侯爵）。38 鍋島従四位殿：鍋島幹（男爵）。39 谷書記官：谷 謹一郎（株主）。40 吉田市十郎：株主（内務少書記官）。41 神田区三崎丁岩崎久弥：三菱三代社長。42 山本正義：株主（東京）。43 鳥山貞利：株主（東京）。44 金井従五位：金井之恭（株主）。45 麻布市兵衛丁千坂岡山県令：千坂高雅（株主）。46 児玉完蔵：株主（東京）。47 吉田六郎：株主（東京）。48 木村半兵衛：株主（足利）。49 石川敬之：株主（上都賀郡）。50 滝沢喜平次：株主（氏家）。51 鮎瀬淳一郎：株主（伊王野）。52 相山義俱：株主（大田原）。53 児谷玉鳳。54 安生郡長：安生順四郎。55 川村郡長：川村伝蔵。56 笹沼長平：県会議員（河内郡）。57 長谷川敬助：埼玉開墾関係（埼玉県県会議長）。58 中村孫兵衛：埼玉開墾関係（埼玉県県議会副議長）。59 三浦泰輔：青木周蔵実弟。60 落合五郎兵衛。61 熊久保正朝。62 天城勲彦。63 彦坂勘厚：日光輪王寺門跡。64 阪部郡長：阪部教宣（那須郡長）。65 薄井次郎兵衛：株主（馬頭）。66 戸村謙橋：株主（芦野）。67 加藤義一：株主（芦野）。68 小峰議長：県会議長小峰新太郎。69 和田方正：株主（塩谷郡）。70 本県県令：樺山資雄。71 関根矢作：勸業委員（河内郡大室村）。72 坂本将作：株主（塩谷郡）。73 野沢泰次郎：株主（芳賀郡）。74 栃木県勸業課長。75 富士見町藤田一郎：株主（塩谷郡出身）。76 三十三銀行川村伝衛：三十三国立銀行頭取。77 川合大書記官：川合隣三栃木県大書記官。78 梅田義信：芝区区長（後横浜市長）。79 山岸 某。80 関 長〇。81 高橋仲次：福島県警部長。（次回に続く）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
年中組・年長組の運動会には、ご参加ありがとうございました。多くの来賓の参加も賜り、また、朝心配した天候にも恵まれ、こどもたちは、この一年間の成長を遺憾なく観せてくれました。

年中組の子どもたちのかけっこダンス、とても

楽しそうでした。年長組のこどもたちのプログラムは、幼稚園での最後の運動会ということもあり、観ていてその一生懸命な姿に自然と涙が出てきました。楽しい時は楽しく、真剣な時は真剣に、メリハリある姿勢は流石に年長組・年中組のこどもたちでした。ご家庭でもお子様の成長を喜び、十分に褒めて下さったことと思います。私は、昨年天に召された故福本光子副園長が、準備の時の子ども達の姿を見て、「これはやらされているからやっているのでは無く、子ども自らが取り組んでいます。子ども達の顔を見ればわかります。全く違うことだ」と、いみじくも言っていたことを思い出しながら当日を迎えました。プロセスが大切なのです。成功体験の蓄積が自信、自己肯定感へと繋がると考えます。

さて、運動会でも、こどもの持つ力「子ども力」はとても素晴らしく、観ているみんなを励まし、癒やしてくれました。本園では「トトロプロジェクト」と銘打ち、自然環境の豊かな幼稚園の中に、インターネットも含めた形での地域を形成することを実施しています。幼稚園での運動会はまさにそのような場のひとつです。こどもの為に、保護者、親類、近所のおじさん・おばさんが子ども達を温かく見守り、一緒に遊ぶからです。今回の運動会で、私は子ども達の素晴らしさをまた発見しました。ギャラリーに、インターン・シップの高校生がいました。また、卒園した1年生の成長した姿をみる事が出来ました。とてもうれしいことです。

本園では、何回が書かせてもらいましたが、これからの正解の無い時代を生きる子どもたちにとって、どのように行事を持つかということ運動会に限定せずに見直してきています。将来必要とされる非認知能力のベースをつくる事が子どもたちの最善の利益です。日々の遊びの積み重ねが第1という考えです。

さて、運動会での風船あげについての問い合わせがありましたので、今までの経緯を報告します。お金は確かにかかるのですが、それが理由ではありません。以前は閉会式の最後に風船に手紙と種をつけ飛ばしていました。風船は、この近くだけで無く、福島県のいわきの方まで飛んでいたりして、そのご縁で来園していただいたり、魚を贈っていただいたり等の新たな交流も出来ました。しかし、風船、種の袋、木綿糸は環境破壊になり、ウミガメがクラゲと間違えて食べてしまう問題がマスコミに取り上げられました。そこで、紙風船も検討したのですが、雨で穴が空くなどの課題もあり、種を付けるのを辞めて分解されやすい天然ゴム風船、木綿糸と手紙だ

けにしました。それでも、天然ゴムはすぐに分解されず、餌と間違えてウミガメは好んでたべてしまいます。天然ゴム風船にも色素や安定剤が含まれています。今海洋プラスチックゴミ、特にマイクロプラスチックが問題になっていますが、風船ゴミも幼稚園で出す量は少ないかもしれませんが、しかし、地球と言う視点で見れば、風船ゴミがビーチのゴミの1%を占めるというデータも出ているところです。それらを総合的に検討している時期にヘリウム(ヘリウムガスは環境を汚染しないと言われていいます)も手に入らない年があり、それ以降は運動会の風船あげはしていません。環境汚染は教育ではないと過去を反省しました。その上で持続可能な地球を目指したいのです。

良い機会なので報告しますが、風船あげ取りやめは単なる一例です。この園は、何が子どもたちの最善の利益かを基準に、子どもたちによりよい環境を残してあげたいと考え、可能な限り実行しています。前園長は、その為に補助金の無い20年前に10kw/h太陽光発電設備をホール新築と同時に作りました。その後もう10kw/h設備1基を増設しました。新園舎建築では、各保育室には、工事費込みで1台約60万円もするペレットストーブを設置しました。燃料の原材料である木は大気中の二酸化炭素を吸って酸素を出しています。木質ペレットを燃やしても大気中の二酸化炭素は増えにくいというカーボン・フリーと言う考えです。石油などの化石燃料は二酸化炭素を出すだけですが、事務室など何カ所かは石油ストーブを使っています。照明もLEDも考えたのですが当時は3000万円という高い金額で、200V利用の省エネ型蛍光灯を取り付けています。これからもこの視点を大切にしていきます。

(しらゆり 2018.10.12 加筆修正)

聖園老人ホームだより

社会福祉法人 イースターヴィレッジ

聖園那須老人ホーム 施設長 赤坂 英昭
谷 間

先日、ホームに住み込みで10年以上働いてくださったAさんが体調を崩し退職することになりました。定年退職後の再雇用であったこともあり、施設内の掃除や入所者の散歩、毎週月曜日と木曜日に行われるミサの準備や行事の準備、調理の補助や宿直室の準備、エアコンの温度調整や照明の節電など色々なことに携わってくれ、時には「そこまでは」とお話しすることがありました。とにかくその年齢

とは思えない食欲とバイタリティに溢れた存在でした。そんなAさんから食欲不振の訴えを聞いて3週間経過しても復調しなかったため総合病院で検査を受けた結果加療が必要とのことで、ご家族の元で療養することになりひとまず安心したのですが、今度は施設の運営の様々なところで支障が出始め職員配置等落ち着くまでに混乱が起きてしまい、様々な面でのAさんのメインの仕事であった「谷間」の仕事の重要性を改めて痛感させられました。

養護老人ホームは環境上の理由及び経済的な理由により居宅での生活が困難になった65歳以上の高齢者を市町が入居させ支援を行う措置施設です。介護保健法施行後高齢者福祉は介護保険制度を中心とした施策展開が主となり「谷間」的な存在になっています。受け入れている入所者は生活困窮、孤立、虐待、DV、知的障害、精神障害、発達障害、認知症等様々な課題を抱えており、所謂制度の「谷間」にあり多様なニーズを持っており、平成18年から特定施設の指定(介護保険のサービスが施設内で利用可能)を受け一人一人がそれぞれの有り様で自立した生活を営める様支援をしております。又、虐待やDVによる緊急一時保護も積極的に受け入れています。しかしながら施設の老朽化に伴い物理的な面で支障がでてきていることも(エレベーターや個室化の未整備)現実です。入所者の多様なニーズに対応できる職員の資質の向上と施設整備ができる様今後ともご理解とご支援を賜ります様お願いいたします。

YMCAだより

【みんなでワイ・Y・さくらんぼバザー2018】
ワイズメンズクラブ・YMCA・さくらんぼ幼稚園の合同バザーが11月3日(土)文化の日10:00~13:30、YMCAさくらんぼ幼稚園で開催されます。おたのしみ券(くじ)の販売を開始いたします。(1枚200円。素敵な景品が当たります。)
※とちぎYMCAのバザーは、今年で第41回目を迎えます。

【とちぎYMCA40周年感謝会】
栃木県にとちぎYMCAが設立され、40年がたちました!そこでとちぎYMCA40周年を記念して感謝会が開催されます!これまでのとちぎYMCAの歴史を振り返り、伝統のゲームやキャンプソング新ブランド『ポジティブネットのある豊かな社会を目指して』という今後の展望についての話などもあります。是非、沢山の方にお誘い頂き、ご参加お待

ちしております!

【とちぎYMCAウィンタープログラム始まります!】

11月13日(火)より、冬休みプログラムの募集受付が始まります。

スキーキャンプやデイキャンプなど楽しい企画が盛りだくさんです。是非、沢山の方にお誘い頂き、ご参加お待ちしております!

【とちぎYMCA・那須YMCAの11月の予定】

- ・11/3(火) みんなでワイ・Y・さくらんぼバザー2018
- ・11/10(土) サタデークラブ(馬頭農村塾・お芋堀り)
- ・11/17(土) とちぎYMCA40周年感謝会
- ・11/17(土) サタデークラブ(西那須野幼稚園・クラフト)
- ・11/18(日) Yキッズ(秘密基地作り)
- ・11/23(金)~25(日) 日本YMCA大会(東山荘)
- ・11/24(土) サタデークラブ(西那須野幼稚園・クラフト)

ユースリーダーのつぶやきコーナー

1.名前(リーダー名) 2.学校名 3.出身地 4.YMCAに入ったきっかけは? 5.思い出に残った活動とその理由は? 6.今後の進路は? 7.YMCAに一言



- ① 金井 修志(しんちゃん)
- ② 国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科
- ③ 長野県
- ④ ボランティアに興味があり、友達がYMCAのリーダー会

に参加しており一緒に参加したのがきっかけです。
⑤ 10月Yキッズ 初めてのプログラムリーダーで不安でいっぱいだったが、子どもたちの笑顔で次第に緊張もほぐれ楽しく活動が行えた。

⑥ 診療放射線技師

⑦ 今まで小さな子どもたちと触れ合う機会がなかったがYMCAの活動を通して子どもたちの笑顔や元気の良い姿から元気を貰ってます。ありがとうございます。